

青梅街道インターチェンジ周辺での計画に関するご意見

～ みなさまからいただいたご意見等(平成18年1月中旬まで)から、場所ごとに整理しました。～

(青梅街道インターチェンジ)

- 青梅街道インターチェンジの設置により環八への流入交通を減らすことが重要。
- 大泉インターチェンジからの距離や東名・中央道方面への利便性など機能不足や建設費に対する採算性を懸念。
 - ・フルインター化
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
- 青梅街道インターチェンジ設置により、大気汚染や騒音・振動など環境が悪化し、子供をはじめとする住民への健康被害が起こらないか心配。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要

- 地中に壁を作る施工法は、地下水脈に影響を与えないか心配。
- 青梅街道インターチェンジへのアクセス交通が生活道路に進入することにより、騒音・振動や交通事故の増大、生活利便性の低下などが起きないか心配。
 - ・外環は不要
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
 - ・アクセス道路整備
- 青梅街道インターチェンジにより地域の景観が損なわれないか心配。

- 大深度を活用し、青梅街道インターチェンジ設置による立ち退きなど地上部への影響が少ないことが重要。
 - ・青梅街道インターチェンジは不要
 - ・地権者への十分な補償
- 青梅街道インターチェンジ設置により生活道路が分断され、商業者への影響や歩行者の生活利便に影響がないか心配。
 - ・インターチェンジは不要

(関町南の一部)

- 幹線道路に囲まれることによる生活環境の悪化を懸念。

(上石神井駅前の踏切)

- 開かずの踏切であることを懸念。

(上石神井)

- 青梅街道インターチェンジ設置により上石神井から住民が離れていってしまわないか心配。
- 上石神井のまちづくりを外環と結びつけることに懸念。
 - ・切り離して検討
- 外環の計画が進まないことによる商業者への不利益を懸念。
 - ・外環の早期建設・再開発



(善福寺公園)

- 地域の貴重な資源である善福寺公園の環境が保全されるのか心配。
- 善福寺池や善福寺川の水が枯れないか心配。

(青梅街道)

- 青梅街道の美しいケヤキ並木がどうなるか心配。
 - ・インターチェンジは不要

(換気所(青梅街道インターチェンジ))

- 換気所からの排気による大気汚染等、子育てへの影響や危険がないか心配。
 - ・換気所周りに緑地帯設置

(井草通り・千川通り・西武新宿線の交差点)

- 交通上のネックになっている井草通り・千川通り・西武新宿線の交差点の解決が大事。

(地域全体)

- 大深度トンネルにより善福寺川や地下水への影響、地盤沈下が起こらないか心配。
- 静かな環境や善福寺公園の水と緑など、地域の自然をトータルに保全することが重要。
- 工事中の騒音や大型車の通行による危険、生活上の不便がないか心配。
- 地域のイメージが悪くならないか心配。
- 将来の生活設計をしたいが、計画がどうなるかわからないので不安。

(大深度区間の地上部)

- 大深度活用のメリットを生かし、先人が整備した良好な住宅地を保全することが重要。
 - ・地上部の保全
 - ・歩道や緑地の整備
- 近くにインターチェンジがなくても、アクセス交通による道路混雑や交通事故等が発生しないか心配。
- トンネルで事故が起こった場合の影響を想定して地上部を整備するのではないかと懸念。

(井草八幡宮)

- 地域の貴重な資源である井草八幡宮の環境が保全されるのか心配。

(桃井第四小学校)

- 交通量の増加によって、窓を開けたり屋外での授業ができないなど、生徒の健康や学校生活に影響が出ないか心配。
- 学区の分断や地域での交流、通学での安全面に影響がないか心配。

(周辺道路)

- 外環の計画変更により事業化されていない都市計画道路がどうなるか心配。
 - ・周辺道路の整備

凡例

(場所の説明)

- 心配や懸念されること。
 - ・計画に関する提案等
 - 意見をいただいた場所
- 外環の地上部の計画範囲
 外環の地下部の計画範囲(地上部よりも内側となる範囲を除く)
 地表部の路面
 地表部のその他の施設
 換気所
 現在の都市計画
 進行方向
 シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が41mより浅い箇所)
 シールドトンネル部(全ての構造が41m以上深くなる箇所)
 トンネル分合流部(深度区分については注書き参照)